

常新新聞

刊夕日二十二月一

日刊 發行兼編輯人 川 文治 本社下町香地(電話六三〇番) 印刷所 常盤毎日印刷所

定部金貳錢 廣告費五錢 印刷費五錢 郵税五厘 料(五字一) 行(五字一) 日(五字一) 刊(五字一) 休(五字一) 日(五字一) 曜(五字一) 大(五字一) 祭(五字一) 福島縣石城郡平町長橋町三五 發行所 常盤毎日新聞社 電話六三〇番

家庭講座

子供の生活と 清新なる娯樂 (七)

川崎小鳥 講述

新曆の正月は既に半ば近くなつて居りますが、近くなる舊曆の正月には暦の上では日曜と祝日も続く事になつて居りますから、各家庭に於て此催しを試みられは如何で御座いますか、か、そうして小さな人達の生活に清新な娯樂の灯びを点してやる事が出来たならば、小さな人達はどんなに喜ぶ事で御座いますか。

御参考になれば幸ひと存じまして、その催し方に就いて氣付きましたか、一通り申上げて見ます。

先づ招待致します客は申す迄もなく「子供」でありますから、招待状は御自分の家の小さな方の名に依つてそれを認めせしめたいと思ひます、是れは子供の作文力の涵養ともなり習字の勵みともなると思ふからであります、此の大役は勿論子供の年齢にも依る事でありますが、文字を知る年頃以上の子供であるならば非常な張り込みで、少しも苦にせずやつてのけます。夫れ

から招待の人数は六疊敷二間通しで約五六十名の子供を集合せしむる事が出来、子供は大人と違つて座布團や火鉢等に頓着せず、肩と肩とを接し合ひ、夫れでも平氣で座する事が出来るからであります。當日になりまして、招待された子供達は輝かしい顔で、元氣よく集つて來ます。其際親心からの取りなして、何か手土産等を持参する子供もありません、私は可愛いプレゼントとして別に意にも解せず、これを受けて居りました。夫れは大間違ひでした。

(續)

貸家案内

白銀町 商店向 二二、〇〇〇
同 同 二〇、〇〇〇
同 同 二二、〇〇〇
仲間町 勤人向 三、五〇〇
應匠町 同 一〇、〇〇〇
同 同 八、〇〇〇
柳町 同 六、五〇〇
櫻町 同 一〇、〇〇〇

加藤營業所

白銀町(電話三三三番)

極上中學服入荷

一年生位 四圓五十錢
二年生位 四圓八十錢
三年生位 五圓十錢

平二 なかや洋服店 電二〇三

防寒用毛糸 格安提供

御化粧用 たいら石鹸は 体裁優美で 價格低廉

三ヶ入 金二十五錢
六ヶ入 金五十錢

森下商店

玩具文具 樂器系類 食料玩具

平町一丁目

市原病院

平町田町(電話一一四番)

内科、小兒科 市原卯太郎
外科一般、婦人科 市原 陸郎
外科、梅毒、淋毒 市原三三男

移轉披露

顧客様各位の御引立により業務擴張の爲め從來四丁目角の店舗は狹隘を感じ今回左記に移轉大々的に擴張し皆様に酬ゆる事となりました

移轉擴張記念に特別大勉強

平町二丁目百七銀行隣り

福田屋ふとん店

嶋 沼彦 茂

ライト寫眞館

業務擴張の爲め左記の場所に移轉し理想の寫場が完成いたしました

引續き御愛顧を願上ます

平町極道小路 魁文堂東隣り

ライト寫眞館

電話八四七番

耳鼻咽喉科専門 合津醫院

場所 (舊診療所裏通り)

平町田町(電話五五九)

君は、いゝ型の洋服を求めたねい、眺かへ?

いや君コレは例の「ソレ」

正札堂

平町二丁目(電話三)

セメント 壁用材料 コールタール ベンキ塗料 板ガラス

磐城セメント株式會社 代理店 西村屋藥舖

平町二丁目(電話三)



り通車停町平

三益玉炭のお奨め

三井物産會社が多年研究の結果專賣特許ヲ得タ最モ文化的ノ木炭代用ノ高級燃料デス

- ◎無煙無臭で火付が早く。火持ち良く、火力が強く、日常のニヤキにはコンナ便な品はありませぬ
- ◎それで値段は大變お安く木炭の三分の一で充分間に合ひます
- ◎ドンナニ喰はずさらいの人でも一度使へば必ず御氣ニ召すのが此の玉炭の特長です

値段ハ壹箱金二圓、個數ハ約八百個内外

お申越次第見本を持参してご覧に供しますから申越下さい

平 驛 前 (電話二二七番)

阿部石炭商店

永山酒造店小賣部 電話二〇七番

平町四丁目平驛通り

現金が欲しさに 思ひ切つた投資

景品付など四苦八苦 決済期の舊歳末迫る

舊の師走も三分の一を經過した、而も土地柄年中最大の決済期として新年末以上に緊張せねばならぬ石城地方は各方面を通じてこの年の瀬の

突破に 一方ならぬ苦心焦慮を續けてゐる殊に平町邊の商店ではこの機会においてより多くの現金を吸収せねばならぬ立場に置かれてゐるので随分思ひ切つた投げ買などが行はれるものと観られてゐるが時節

一般の購買力が至つて貧弱なので餘り大した収益もなさそうであるが斯くては一同將來の浮沈にも關するので各町とも目の迫ると共に福引景品も過ぎの平町内は各店頭の旗のはためきに景品引替場のけたまじい鈴のひびきに舊歳末ならではみられぬ賑ひを呈することであらう

平常の勉強振が 頗る熱心になる

試験制度が改正されて 學童の態度が變る

石城郡地方における中等學校に對する入學難は依然緩和されず中等學校の増設が叫ばれ取敢ず平商業學校の昇格が問題とされ、新學期開始が近づいて來たので商業學校昇格問題が地方民の間に緊張を要する事として編成されつゝある昨年からの兒童のなやむ試験地獄を救済するために試験制度が改正になつたが新入學制度は小學校に於ける成績が重要な條件となる事なので從來の如く試験期にだけ勉強をする様な事はなくなり平町

競争激甚か

悪水豫防議員 名簿を縦覽

既報平町外二ヶ村水害豫防組合では來る二月十五日組合議員の改選を行ふ各關係町村では有権者名簿調製中であつたが此の程確定



藥草いろく

◇はいかい(荊芥)二尺ばかりの一年生草で、葉は方形葉は淡黄色の披針形、花は帯紅白色で、紫蘭の花に

平銀行の行員は 全部留任に内定

合併認可は二月上旬頃 内部の整理に日夜兼行

平銀行が常磐銀行に合併の件は目下大藏省に認可手續中である事は既報の如くであるが、前後の模様より見て二月上旬頃認可の指令に接するらしく認可と同時に常磐銀行平支店の名稱に變更される譯で同支店長に内定した中村梅三郎氏は變更に先立内部の整理に日夜兼行の努力を拂つてゐる、右につき中村支店長は語る「平銀行が支店に變更すれば帳簿類や、其他銀行内部に關する種々の事務

自動車轉覆し 乗客重傷を負ふ

ハンドルに故障を生じて

平町極道小路松崎自動車運轉手仲野吉松(三)は廿日午前十時四十分頃石城郡下小川村大字上平字下平縣道を自動車運轉中ハンドルに故障を生じ操縦不能に陥つた爲の道側の土堤に乗り上げた小形です、この葉や花を採つて陰乾となし、煎じて服みますと瘡毒を消す効めがあるのです

行路病人 收容所改善

隔離舎裏よ

平町の行路病人收容所は豚小屋同然として非難が起つたので町當局は昨年三月に建設した臨時傳染病人收容所を傳染病院の裏に移轉内容を改善しこれを行路病人收容所にあてることになつた僅か五件で

損害二萬餘

半年間の火災

平警察署管内昨年七月以降十二月末迄の火災件数は僅かに五件にして被害高は二萬二千二百六十五圓の巨額で原因は全部失火

病氣は 必ずなほしてやると仰せられたから妾はきつと全快する」と語つた神託あやまたず其翌日から漸次快方に向つて元の健康に返つた此あらたかなる靈驗に感じた平町の醫師山内宗春氏は繪畫彫刻をよくするところから同祠の天井二間四方に蛇身辨天を書いたのが今も残つてゐる

宗春は五丁目の人で一樂と號し其親玄碩から醫業を継ぎ明治十一年六月病歿した

募集

文藝其他投稿を募集します

たが同十年内國勸業博覧會に彫刻數點を出品し何れも鳳紋賞を受けてゐる

夏井川に浮んだ 江筋辨天

(談爐夜寒)

平の辨天は現在「江筋辨天」と稱されてゐる、それは延寶年間水守治衛門なるもの夏井川の愛谷堰にして開かれた平町外四ヶ村の水田六百町歩に灌漑する(いつか縣會で堰崩壊の爲め)

問題に

なつた愛谷堰竣工の際祭つたものと云はれてゐる、從來「江筋守護神」として祭禮は行はれてゐない何時頃の奉祀か文獻詳らかでないが、祭られた辨天像(高さ一尺餘の木像)は矢張江筋が出来て遠

からぬ成年(同地が井上河内守から安藤對馬守に改封された頃か)の秋十五夜の七つ時(今なれば午後四時頃)稲の穂が漸く垂れて人皆豊作を喜んでゐると江筋の静かな流れの上流から銀鱗を輝かしつゝ下つて來る不思議な影をたまたま江筋の堤に立つて認めた百姓が網を張つてすくひ上げ手に採つて見ればそれまで輝いた銀鱗が消えて古びた一個の木像であるのにもすく／＼不審をいだき隣接する彌宜町今は當時の町影を

全く止めないが平驛構内の北端で現在品川川煉瓦工場のある附近一帶が神守の人々の住んだ所らしく彌宜の地名だけのこつてゐるに携へて鑑定を乞ひ始めて辨天の尊像とわかり同町の西部

上地に 池をうがち其傍に小さな祠を建てまつた神守の住める彌宜町にまつられた同社は江筋の流れより拾はれたのを其まゝ江筋辨天と稱せられたもので其後明治卅一年鐵道常磐線を敷かるゝに當り

現在の 地に移された(舊境内は丁度今の平驛

機關車給水タンクのある所で池の片影が現にある)ものである。これより先き今から百年前の文化年間大工町に同神社の厚い信仰者があつて毎朝社殿並に境内の清掃を欠くことなく、しかもしば／＼その池中に銀鱗を拜した其子孫に當るまつ女(現在平町字大館は居住する佐々木庄太郎翁の母堂)が明治の初年大病に罹つたが病篤く醫者もさじを投じ看護の近親も疲れて假睡に沈む丑滿過ぎ重態のはつ女の口から「今銀鱗蛇身の辨天様が枕頭に現れそなた